「オープンスタジオ」開設で賑わい創出！「トリプルワン」のすすきの活性化策



ココノススキノで2023年11月、全国初の共創型オープンスタジオ「MID・αSTUDIO」が開設され、話題を呼んだ。開設以来、NHKや民放放送などで公開収録が行われ、大人気だ。

それを運営する㈱トリプルワンの伊藤翔太社長は、芸能プロダクションや飲食店も経営、所属タレントの金子智也さんはテレビやラジオ番組などで活躍している。今回は系列スナックの加地映子ママが加わり、すすきのの活性化などについて3人に語ってもらった。

（11月3日、ココノススキノ・「MID・αSTUDIO」にて収録）

出席者

㈱トリプルワン社長
伊藤 翔太さん

タレント・ミュージシャン
金子 智也さん

スナック「トリプルワン」ママ
加地 映子さん

「インフォ」センターに…

――コンパクトですが、素晴らしいスタジオですね。開設したきっかけは？

伊藤 私が以前勤めていた「ユニバーサルミュージック」というレコード会社で、全国のオープン型スタジオを見て回り、それがマチの賑わい創出につながっていると感じました。札幌にもこういったスタジオがあれば、という思いがあって。ちょうどココノススキノができる時期で、ご縁があり、ここでスタジオを開設しました。

加地 うちのスナックは、ココノススキノの近くにあって、お客様との間でもこのスタジオが話題になります。

伊藤 もともとインフォメーションセンターが入る予定のスペースにうちが入ることになったので、4、5人のコンパクトなキャパシティになりました。

金子 このスタジオがオープンした時、最初に喋らせてもらって、めちゃくちゃ緊張したのを覚えています。自分のラジオ番組やライブで歌わせてもらったりとか、結構使わせてもらっています。

道外からも視察

加地 スタジオの出演者が着替えなどで、うちのスナックを使っていただいて。うちのスナックは楽屋代わりにもなっています。スタ

加地 ガラス張りだから、外からスタジオの風景がわかる。

金子 そう。ここで喋ってると、誰が通るかわからない。高校時代にお世話になっていた先生がここを通って手を振ってくれた時は感激しました。

続きは『月刊クォリティ』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
https://qualitynet.co.jp/koudoku/

○お電話でのお申し込みはこちらから
TEL 011-644-0101
（9:00 ～ 17:30　土日・祝日をのぞく）